

I 目指す学校像

本校が目指す学校像は次の二点です。

1. 未来のビジネス社会で生きていく生徒の可能性の拡充に、師弟同行で挑戦する学校です。

これは本校の校訓「**明朗・気概・思いやり**」の実践を根底に据え、生徒の皆さんの持つ可能性を信じて、教師と生徒が寄り添いながら基礎学力とITやビジネスの専門技術の向上を図り、一人ひとりの将来の可能性を大きく広げ見いだしていくこと、すなわち、可能性の拡充に挑戦する学校という意味です。

2. 地域と協働することで深い学びを追究する専門高校です。

これは現在、本校が協働している安来市、民間企業、大学や研究機関など、さまざまな方との連携を通して、学校の授業だけでは体験できないような深い学びを追究する専門高校という意味です。

II 目指す生徒像

本校が目指す生徒像は、デジタルテクノロジーを活用し、新たな価値を創造する「デジタルイノベーション創出人材」であり、その育成をします。

では、このような生徒を育てるために、情報科学高校ではどのようなことを大切に、学びを進めているのか説明します。

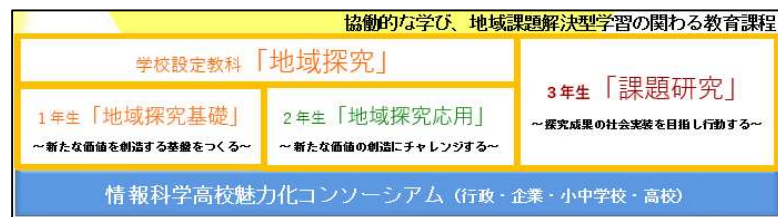
それは次の三つの学びに重点を置きながら、生徒の皆さんの成長を促しています。

1. 【主体性】～今と未来を見つめ、主体的に取り組む能力～を育てる学びです。

- ① 自己の成長につながる目標設定力 ②「なぜ？」が浮かび、それを深掘りする探究力を、共通教科の学習、資格取得を含め情報・ビジネスの専門性の深化のための学習はもとより、キャリア教育イベントや地域課題解決型学習などで高める取り組みを進めています。

2. 【協働性】～他者と円滑な人間関係を構築する能力・協働する能力～を育てる学びです。

- ① 社会で通用する自己表現力・発信力 ② 他者の意見や価値観を受容する力
③ チームで協働し実践する力
を、共通教科・専門教科の授業はもとより、学校設定科目「**地域探究基礎**」・「**地域探究応用**」や専門科目「**課題研究**」など協働や発表の場面において高める機会を多く設けています。



3. 【創造性】～デジタルテクノロジーを活用し新たな価値を創造する能力～を育てる学びです。

- ① 新たな価値を創造しようとする力 ② 課題解決のためにITを活用する力

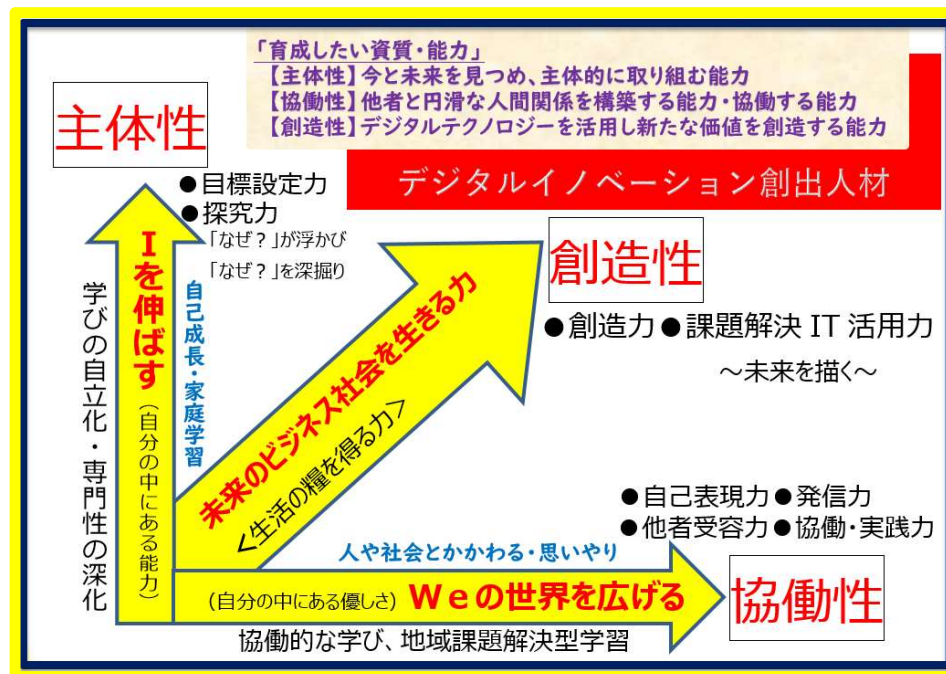
本校ではIT企業のほかに、大学や地域の企業、団体とも連携した授業、IT City 安来を目指す地域講座「遊ぼう学ぼう講座」や本校フラッグシップ行事「情報ITフェア」などでデジタルイノベーション創出人材育成プログラムを立ち上げています。地域で活躍されているさまざまな方の思いに直接触れ、地域の今と未来に思いをはせながら、自分の将来像であるキャリアデザインの実現を目指す気持ちが養われると考えています。そして、よりよい社会の実現のためにITを活用した地域貢献を創造するハートが育まれて実践力が培われるものと考えています。

III 求める生徒像

情報科学高校では、コンピュータや世の中の仕事に興味があり、自分の持つ可能性を広げるために、学習や資格取得、部活動、地域貢献など様々な活動に挑戦する志を持つ生徒を求めています。そのためには基本的な生活習慣が身につについて規則正しい生活を送っていることも重要です。高校でいろいろなことにチャレンジしたい中学生の皆さん、情報科学高校で待っています。

目指す学校像

- 未来のビジネス社会を生きる生徒の可能性の拡充に「師弟同行」で挑戦する学校
- 「地域協働」で深い学びを追究する専門高校



求める生徒像

- 基本的な生活習慣を確立させており、規則正しい生活を続けている生徒
- 情報・ビジネスに関する学習に対して興味・関心がある生徒
- 地域から学び、地域に貢献しようとする意欲を持った生徒